特集「正しく怖がろう」の社内勉強会　社員用

ワークシート　会社のメールを、乗っ取られない形にする

名前（　　）　日付（　　月　　日）

書かないこと：パスワードそのもの、スマホの6桁、バックアップコード、
メールアドレスや電話番号。書くのは、サービスの名前と〇だけ。

① 仕事で使っているアカウントを、名前だけ書き出す（スライド11）

いまの入り方は、分かる所に〇（分からなければ「？」）。
ほかの人と同じパスワードで使っているものは「共有」に〇。

仕事で使っているもの（名前）	会社の／個人の	パスワードだけ	SMS の番号	認証アプリ	パスキー	共有	今日やった
会社のメール	会社						
スマホ本体							
Apple／Google							
ネットバンキング							
会計ソフト							
会社の SNS							
チャット・LINE							
通販・ネットショップ							

・使っていないものは斜線で消す。自分で足してよい。
・スマホ本体の行は「顔か指と6桁以上で開くか」に〇。
・会社から貸しているスマホは、会社の決まりに従う。

「共有」に〇を付けたものは、サービスの名前だけを管理者に伝える。
パスワードは言わない・書かない。

この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスで提供されています。
出典：Data is CITY（teleport.jp/dataiscity/）
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja

特集「正しく怖がろう」の社内勉強会　社員用　（裏）

ワークシート　会社のメールを、乗っ取られない形にする

名前（　　）　日付（　　月　　日）

② 今日やったことに✓（スライド12〜15）

- ☐ 画面ロックが「顔か指」と「6桁以上」になっている
- ☐ パスワードをスマホに覚えさせる設定をオンにした
- ☐ 会社のアカウント：2段階認証をオンにした／認証アプリを登録した
- ☐ 会社のアカウントに、パスキーを作った（管理者が許可していれば）
- ☐ 設定の画面に、作ったものが出ているのを確かめた
- ☐ まだのものを、やる日：　　月　　日

会社の決まり（今日から）

1 **振込先の変更と急ぎの送金は、メールの外で確かめる。**
前から知っている番号に電話する。メールの番号にはかけない。

2 **社長がメールや LINE で送金を頼むことはない。**
頼まれたら、社長本人に電話で確かめる。

3 **銀行を名乗る電話でも、メールアドレスを教えない。**
ソフトを入れない。切って、公式の番号にかけ直す。

4 **ログインしていないのに「承認しますか？」が来たら、**
押さずに管理者に知らせる。

おかしいと思ったら、一人で抱えず、すぐ管理者に

管理者（　　）　連絡の仕方（　　）

2段階認証が必須になる日：　　月　　日

起きてしまったら

乗っ取られたかも・怪しいリンクを押した：すぐ管理者に

スマホをなくした：探す→ロック→最後に消す。携帯会社と管理者に

漏れたと知らせが来た：そのサービスのパスワードを変える

設定の手順と冊子：teleport.jp/dataiscity/right-fear/

この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスで提供されています。
出典：Data is CITY（teleport.jp/dataiscity/）
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja

ワークシート　会社のメールを、乗っ取られない形にする

名前（　　）　日付（　　月　　日）

書かないこと：パスワード、バックアップコード、口座番号、暗証番号。
書くのは、名前・場所・印だけ。この4枚は鍵のかかる所にしまい、管理者2人だけが持つ。

A　勉強会の準備（進め方のガイドと同じ）

1〜2週間前（業者に頼むことがあるので、早めに）

- [ ] 会社のメールが何で動いているか（Google Workspace／Microsoft 365／ほか）を確かめた
- [ ] 自分が管理者かを確かめた（会社のアドレスで admin.google.com／admin.microsoft.com に入れるか）
- [ ] 管理者でなければ、入れた業者に頼み、社長か担当者を管理者に足してもらった（2人に）
- [ ] 2段階認証を必須にする日を決めた（勉強会の1〜2週間後）：　　月　　日
- [ ] 設定②の手伝い役を決めた（社員4人に1人）：

前日まで

- [ ] Google：「ユーザーが 2 段階認証プロセスを有効にできるようにする」にチェック（K1 の③）
- [ ] Google：「パスワードのスキップ」が許可されている（K2）
- [ ] Microsoft：「セキュリティの既定値群」を見た（K3）。パスキー（FIDO2）を使うか決めた（K4）
- [ ] 自分のスマホで、スライド12〜14 の手順を一度たどった（違えば公式の説明を正とする）
- [ ] 会社から貸しているスマホで、設定を変えてよい範囲を決めた
- [ ] パスワードを忘れた人を、管理者の画面で再設定できるようにした
- [ ] 外へ自動転送している人がいないか、業務で要るものがあるかを確かめた（K5）
- [ ] 社員に伝えた：「スマホを持ってくる」「会社のアカウントのパスワードを思い出しておく」
- [ ] Wi-Fi・スクリーン（かテレビ）・印刷（社員用は表裏で人数分、管理者用は2人分）

勉強会のあとのメモ

参加した人数（　　）人　会社のアカウントまで済んだ人（　　）人

出た質問・困ったこと：

この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスで提供されています。
出典：Data is CITY（teleport.jp/dataiscity/）
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja

ワークシート　会社のメールを、乗っ取られない形にする

名前（　　）　日付（　　月　　日）

B　会社のメール（スライド10）

☐ Google Workspace　☐ Microsoft 365

☐ 個人の Gmail・LINE・プロバイダーなど（　　）

プラン（　　）　入れた業者（　　）

C　管理者は誰と誰（2人。手元用 K2・K4・K6）

	名前	パスキーか セキュリティキー	予備の キー	再設定用の 電話とメール	バックアップコードを しまった場所（場所だけ）
1人目					
2人目					

D　みんなで使うアカウント（会社ならではの穴①。社員用①の「共有」を集める）

サービス（名前だけ）	ログインに使う アドレス	知っている 人の数	人ごとに 招待できる	2段階 認証	番号を受ける スマホ・人	済んだ日
（例）会社の SNS	（個人／info@）					

人ごとに招待できる機能（「メンバー」「スタッフ」「ユーザーの追加」など）があれば使う。できなければ、ログインのアドレスを会社が持つ共有のアドレス（info@ など）に。

E　ドメインの登録先（穴③。会社のアドレスの「@」から後ろを借りている先）

登録先の会社（　　）　ログインできる人（　　）

☐ 2段階認証　☐ 自動の更新　☐ ログインのアドレスは会社のもの

支払いのカードの期限（　　年　　月）

☐ ホームページを作った会社や業者が、取ったままになっていない

この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスで提供されています。
出典：Data is CITY（teleport.jp/dataiscity/）
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja

ワークシート　会社のメールを、乗っ取られない形にする

名前（　　）　日付（　　月　　日）

F　法人口座（穴④。どの機能があるかは、銀行の公式の説明で確かめる）

銀行（名前だけ）	振込を作る人	承認する人（作る人と別）	1日の上限	振込の知らせのメール	確かめた日

銀行を名乗る電話でも、メールアドレスを教えない。言われたソフトを入れない。切って、公式の番号にかけ直す（社員用の裏）。

G　辞めた人のアカウント（穴②。もういない人が残っていないか）

名前	辞めた日	アカウントを止めた日	共有のパスワードを変えた	データを移した先

H　辞めるときにやること（紙1枚。管理者2人が持つ。手元用 K7）

Google Workspace

- ☐ パスワードを変える
- ☐ 再設定用のメールと電話番号を消す
- ☐ ログイン Cookie をリセットする
- ☐ アプリの許可（OAuth のトークン）を取り消す
- ☐ セキュリティキーとアプリ パスワードを取り消す
- ☐ 会社のデータが入った端末のデータを消す
- ☐ 残すデータは、消す前に「停止」して移す

Microsoft 365

- ☐ サインインできないようにする
- ☐ メールの中身を残す
- ☐ スマホのデータを消す
- ☐ メールを転送か、共有のメールボックスに
- ☐ ライセンスを外す
- ☐ 最後にアカウントを消す（30日は戻せる）

☐ **あわせて：その人が知っていた、みんなで使うアカウントのパスワードを、その日に変える（D の表）**

この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスで提供されています。
出典：Data is CITY（teleport.jp/dataiscity/）
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja

ワークシート　会社のメールを、乗っ取られない形にする

名前（　　）　日付（　　月　　日）

I　今日・今週・今月の段取り（スライド21。時間は編集部の目安）

全員の2段階認証が必須になる日：　　月　　日（A で決めた日）　社員に知らせた日：　　月　　日

いつ	やること	担当	予定日	済んだ日
今日	管理者を2人にする（手元用 K2・K4）			
今日	管理者2人に、パスキーかセキュリティキー（予備も）。再設定用の連絡先・バックアップコード（K6）			
今日	全員の2段階認証をかける（Google：決めた日を「適用」に入れる K1／Microsoft：既定値群 K3）			
今日	外への自動転送を止める（業務で使っている人を先に確かめる。K5）			
今週	必須の日までに、全員が登録したかを確かめ、まだの人に声をかける（下の J）			
今週	取引先の「前から知っている番号」を控える			
今週	銀行の法人向けネットバンキングで、承認・上限・知らせを確かめる（F）			
今月	みんなで使うアカウントを、人ごとの招待か会社のアドレスに付け替える（D）			
今月	辞めるときにやることを紙1枚に（H）。残っているアカウントを止める（G）			
今月	ドメインの登録先に2段階認証、自動の更新を確かめる（E）			
今月	社員一人ひとりの端末と、ほかのアカウントを固める（特集3）			

社内にサーバーや、外から社内に入る仕組み（VPN）がある会社は、その機器の更新と管理も要る（この勉強会では扱わない）。

J　まだの人（勉強会で、会社のアカウントの設定が済まなかった人。名前だけ）

名前	まだのもの	声をかけた日	済んだ日

この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスで提供されています。
出典：Data is CITY（teleport.jp/dataiscity/）
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja